

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	4年度
事業名	市立公園等管理事業	担当課	建設課
事業内容(簡潔に)	市民福祉の増進と生活文化向上のため、公園施設の機能管理を図る事業		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	心地よい定住環境のあるまちづくり	
	政策	快適に暮らすための生活環境の充実	
	施策	公園整備の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	蕨崎市市立公園管理条例

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	市民が公園を安全で快適に利用できるように維持管理を行う。
事業の手段	公園管理を行う上での業務を実施する。 管理業務の委託・施設の修繕工事の実施・消耗品の購入・光熱水費の支払い 対象箇所（6箇所）午頭島公園・高松公園・甘利沢川さくら公園・穴山さくら公園・観音山公園 塩川ふれあい公園
事業の対象	公園利用者

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	6,653	7,355	7,935
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	6,653	7,355	7,935
B	担当職員数(職員 E) (人)	0.22	0.22	0.22
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,477	1,447	1,448
D	総事業費(A+C) (千円)	8,130	8,802	9,383
主な事業費用の説明	市内6公園の維持管理に関する事業費用 A.事業費は経常事業費のみを計上したもの 参考:経常事業費は元年度(6,653千円)、2年度(7,355千円)3年度(7,935千円)			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1	管理対象公園数	6	6	6
	2	管理業務委託率	100	100	100
	3				
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	業務委託を行う事により、公園の管理が日常的に実施され、環境美化が保たれている。			
	2	毎年管理業務の委託を全ての公園で行っていることにより、利用可能な状態に保たれている。			
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	アダプトプログラム登録数 (%)	50.0 (3件/6園)	50.0 (3件/6園)	66.7 (4件/6園)
	2	公園面積 1㎡当たりの管理費(円)	103	114	122
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	アダプトプログラムへの参加団体は増加したが、引き続き多くの団体への積極的な参加を呼びかけていく必要がある。			
	2	公園面積 1㎡当たりの管理費については、維持管理の内容により事業費に変動があるが、適正な管理ができています。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)			
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)			
	令和4年度の改善計画 (今後の事業展開説明) アダプトプログラムについては、高齢化等の理由により参加団体が減少し、コロナ禍において、活動自体も消極的になっている。 引き続き、新規参加団体の募集と併せて、すでに参加している団体が充実した活動ができるよう支援していくとともに、安全で快適に利用できるよう各公園の実情に合った維持管理計画を検討していく。			
改善の経過				
直近の評価結果	内部評価	2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	
	評価時の改善案	アダプトプログラムを導入することで、様々な方が活動に参加するようになり、公園の美化に大いに役立ってきたが、各団体の高齢化や諸事情等により活動が難しくなってきたため、多くの団体に積極的に参加してもらえるよう推進していく。		
	外部評価	対象外	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	
	評価時の対応	対象外		
課長所見	公園利用者の安全確保と適切な維持管理に努め、管理コストの縮減を図りたい。			